

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2009-92773(P2009-92773A)
 【公開日】平成21年4月30日(2009.4.30)
 【年通号数】公開・登録公報2009-017
 【出願番号】特願2007-261193(P2007-261193)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/167 (2006.01)

B 8 2 B 3/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/167

B 8 2 B 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月17日(2010.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

母粒子に、第1の子粒子と第2の子粒子とを埋め込んだ形態で複合化した表示媒体用粒子であって、

前記第1の子粒子および前記第2の子粒子が、前記母粒子よりも粒子径が小さくかつ高硬度であり、

前記第1の子粒子および前記第2の子粒子が、互いに帯電特性が異なり、

前記第1の子粒子の平均粒子径が、前記第2の子粒子の平均粒子径の、2/3以上3/2以下の範囲にある、

ことを特徴とする表示媒体用粒子。

【請求項2】

前記第1の子粒子および前記第2の子粒子が、0.8以上のアスペクト比を有することを特徴とする請求項1に記載の表示媒体用粒子。

【請求項3】

前記第1の子粒子の飽和帯電量と前記第2の子粒子の飽和帯電量との差が、絶対値で、 $10\mu\text{C}/\text{m}^2$ 以上であることを特徴とする請求項1または2に記載の表示媒体用粒子。

【請求項4】

前記第1の子粒子および前記第2の子粒子の外側に、微小粒子を外添付着させたことを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の表示媒体用粒子。

【請求項5】

少なくとも1種類の表示媒体を、少なくとも一方が透明な2枚の基板間空間に封入し、前記表示媒体を電氣的に駆動させることによって、画像等の情報を表示する情報表示用パネルにおいて、

前記表示媒体として、請求項1～4のいずれか1項に記載の表示媒体用粒子を少なくとも1種類用いることを特徴とする情報表示用パネル。